婦人と新社會

山田わか主筆

新年號

大正九年三月二十三日第三種郵便物認可
昭和二年十二月二十三日印刷納本

所謂文化生活と人間性

女性進化の過程

文明の内容

發明と個人

文明と勞働

勞働と人格

世界平和と平時の勞働

婦人は人格を認められてゐなかつた

平等の道德律と進歩

後天的にどうすることもできない男女の差

愛の力と文明の進歩

デモクラシーの精神と婦人

婦人參政權と世界平和

家庭と個性

昭和三年一月一日發行　第九十四號　毎月一回一日發行

東京 婦人と新社會發行

所謂文化生活と人間性

所謂モダン人はアパートメント生活が最も進歩した生活だと思つてゐる。けれども、このアパートメントの前身はホテルであり、ホテルの前身は我が國の言葉で云ふならば旅館、旅人宿、宿泊所、はたごやと云ふようなものである。

歴史によればギリシヤやローマでは旅館と云へば、山賊や追剝の一部と見なされてゐて、旅館の主人は軍務に參與する資格が無かつた程、それ程信用を缺いてゐた。故に、セント・ポールが傳導の旅に於ては旅館には立ちよらず、信者の家に宿つたと云はれてゐる。

一體、ホテルに住んでゐる人は其處を永住の場所としてゐるのではない。一晩か二晩、又は長くても數ヶ月位ひのものである。故に、同じ廣さの面積でも普通の住宅が占めてゐるのと旅館が占めてゐるのとでは其處に出入りする人の數の差が非常である。丁度、料理屋が客のもてなしを商業化したのであると同じように、ホテルは人の住所を商業化したのであるに過ぎない。

客の便利を計るのであるから其れが便利なのは勿論であるがもと／＼商業化したつまり營利を目的としたものであるから其の内部に温味が缺けてゐると云ふことは止むを得ないことである。で、こう云ふ性質のホテルと同質のアパートメント生活はどう考へても人間の天性に適つた永住の場所と考へることはできない。のみならず、凡て便利に出來てゐる、そして、出入の烈しい、こう云ふ場處で育つ子供は金さへ出せば何でも出來ると云ふ觀念を持つてしまう。貞操までをも商業化して考へるようになつてしまう。

故に、今日のアパートメント生活は最も進歩した文化的生活であることの代りに、貴き人間性の抹殺所であるように考へられる。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

女性進化の過程

文明の內容

文明とは何でせう？　云ひかへれば何が文明を造つてゐるのでせう？

こう考へて見て、今日の文明を構成してゐる要素の凡てを一々此處に擧げて見ることは不可能ですが、併し、大體の處を云つて見れば、先づ、科學、哲學、宗教が基礎で、それから、倫理、政治、法律、信仰、觀念、經濟制度、及び人間としての我々の態度や禮儀作法や、その他器械や圖書などゝ云ふやうなものです。

こう云ふものが相互に相影響し、相助けて、そして、今日の文明が出來上がつて居ります。この文明の大部分は一つの時代から次の時代へと移つて行きます。且ツ變化して行きます。ですから、前の時代の文明と次の時代の文明とには或る相違があり、時とすると其の相違が著しいことがあります。

傳へられた文明に變化を起し、進歩させるに付ては、そこに或る新らしいものゝ發生が原因であると云ふことは誰でもが容易に認め得る事實です。そして、その新らしいものゝ發生とは發明又は發見です。

そして、この發明又は發見に至る觀念と云ふものを解剖して見れば、それは結局個人の心のうちに宿つてゐるものです。

發明と個人

發明とか變化とか云へば、それは器械的の發明、或ひは、社會的組織の詳細に關してゞす。

つまり、生產及び分配の方法を改良し單純化したり、生活の必要品及び趣味を滿足させる物品を考へ出したり、新らしい言葉や格言を造つたり、凡てこれ等は、皆、個人の心から生れるものです。

個々人の性質は全部社會環境によつて決定せられるとしても、今云つた文明の變化——精神的のものであれ物質的のものであれ——はそのよつて起つて來る處は個人の心です。要するに文明の進步は個人の問題であり、そして個人の心です。實に、心と云へば個人を離れては存在しないものであります。

故に、文明の全體は、その源に一步々々とさかのぼつて行けば個人の心の中に孕んだ觀念の斷片となつてしまひます。

そして、その觀念を生んだ個人はこの地上から消へてしまひますけれども、觀念は殘ります。蓄積されます。その堆積が今日の文明です。

凡ての器械、道路、通信及び運搬の機關、家屋、圖書、確立された社會組織、記錄された法典、その他代々の重要な事柄は記錄となつて殘つてゐますが、そのうちでも、最も重要な機關は敎育です。家庭に於て、學校に於て、社會に於て、敎育と云ふ手段を通し過去の文明が現代へ傳へられます。敎育によつて過去が現在をかたちづくり、未來に對する模範を造ります。

敎育と云ふ人の心に深く喰ひ込む道具を通して次の國民の心はかたちづくられて行きます。

大多數の人間は、海上の船が浪に左右されるやうに既成の文明に左右されてゐると云ふことは事實です。何等の批判を下すことなく、あるがまゝのものを承認して安心してゐる者が決して少なくないのです。

が、そのあるがまゝの一切が皆最初は個人の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

心から生れたものであると云ふことを私共は忘れてはならないと思ひます。

文明と勞働

今日の文明が如何に偉大であらうとも、これが決して完全でないと云ふことは誰でもが認めてゐる事實です。改良を要するものが實にかたつぱしからあります。

今、私共がよりよき文明に付て如何に賢明な考へを持ち得るとも、如何なる望みを持ち得るとも、併し、勞働を無用とするようなことは絶對にありません。私共が生活に必要とする處のものは凡てが努力を要します。

生活に必要なもので、唯、單に、求めることによつて得られるものは何にもありません。ですから、勞働をせずに生活してゐる人は共れだけ他の人の勞働を盗んで生きてゐるのです。

そこで、人は誰でも勞力を惜しんではならないと云ふこと、云ひ直せば、勞働の必要と云ふこと、勞力は賢く利用しなければならないと云ふこと、それが進歩向上の道であると云ふことを國民に徹底せしむるのが目下の處最大重要事です。

少なくとも、勞働することは怠けてゐるよりも遙かに興味があり、愉快です。仕事と云ふ仕事は何にもせず、怠けてゐることを仕事としてゐる人は、私共が相像する程幸福な人ではありません。

さう云ふ人は自分自身の體をもちあつかつてゐます。時間をつぶすために何にかの方法を發明しなければなりません。そして、自分で發明できないので他人に發明して貰ふために莫大な金を拂つたりします。

勞働と人格

もし、人間が生れるとすぐに、鳥が巣を造ることに於て用ゆる本能のような本能をもつて、自分自身の必要品の凡てを得ることができたならば、人間の腦髓は他の動物の腦髓と同じ水準にあつたでせう。

併し、人間には動物に與へられてある本能の力よりもより高い力が與へられてあります。その力によつてよりよき方法を案出し、困難に打ち勝ち、一歩々々と進んで、そして、今日の進歩した狀態に到達しました。のみならず益々より高く發達する可能性を示して居ります。そして、それは皆勞力を惜しまない、勤勉な、勞働を神聖視したたまものです。

怠けてゐる青年は、怠けてゐることそれ自身が彼の知力のニブイことを示してゐます。これに反して、正しい種類の勞働は、勞働者自身の生活狀態を益々改良して行きます。

正しい種類の仕事を持つてゐること程、眞の自尊心の根を深くするものはありません。働いてゐる者は、何はともあれ自分が寄生蟲でないと云ふ意識を持つてゐます。

正しい勞力によつて自分の富を造る者があると同時に、親の財産を受けつぐ者があります。不正な手段によつて富を手に入れる者もあります。富を得るに付てのこれ等のいろ〳〵の方法のうちのどれが最も正しいのかと云ふことは云ふの必要はありません。

生活に必要な物品を造り出すためには誰かゞ働かなければなりません。一般の人間が、無ければ生きられない物品を造るための共同勞力に參與してゐる人は確かに一般から尊敬される權利を持つてゐます。そして、それが確實な自尊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

心となります。

　自尊と云ふことがシッカリした人格者になる第一條件でありますが、その自尊心を發達させるものは有益な仕事を持つてゐると云ふことです。

　或ることに對して熟練を持つてゐると云ふ自覺があり、それを名譽とすることが確實な人格を造ります。

世界平和と平時の勞働

　ウイリアム・ジエームス教授は、有益な仕事と世界平和との關係に付て、深く考へてゐました。各國の青年が平和よりも戰爭を面白く感じてゐる間は永久に世界平和は實現しないと云ふことを彼は知つてゐました。そして、青年達が戰爭の布告に興味を持つのは、彼等が毎日の仕事に倦怠を覺へてゐるからだとも云つてゐます。

　實に、戰爭は、青年の冒險心に滿足を與へ、獻身的、乃至、共同的精神を高調せしむるものでありますが、そんならば、この戰爭と云ふ破壞的の仕事の代りに社會に有益な、且つ、興味ある積極的の仕事を青年達に與へてはどうかとジエームス教授は云つてゐます。

　そして、戰爭から歸へる青年を社會が熱誠をもつて迎へるように、産業上及び其の他の生産的の仕事に參與して責任を全ふしてゐる青年に對して社會は稱讃の辭を惜しまないようにしなければならないと。

　たとへば、農業に、漁業に、工業に、鐵道布設に、開拓事業に成功した青年は戰爭に行つて功績を擧げたのと同じ意味です。否、より道德的であります。

　一般がこう云ふ觀念を持つようにならなけれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば平和時代は斷じて參りません。

云ひ直しますと、平和時代の普通の每日の仕事に於て勞働者が怪我をしたとします。この怪我人は、戰場に於ける負傷兵と同じ待遇を受けて可なりだと思ふのです。

なぜなら、國民が何等の不自由なく、しかも進歩的な生活を送り得るのは勞働者の働きに大いによつてゐるものでありますから。

一人の勞働者の仕事は先輩勞働者の仕事と結びつけて考ふべきです。彼は勞働が社會へもたらした善を記憶して失望してはならないと思ひます。

勞働者は自分の仕事と他人の仕事の間には共通の利益があり、そしてその利益を增大することが文明を促進する所以であることを確實に自覺しなければなりません。

生產と物品の交換は相互の善意を相互に理解する最も好機會であると云ふことを各勞働者及び各國民が目標とすべきです。

婦人は人格を認められてゐなかつた

女性を美しい花になぞらへる習慣は洋の東西を問ひません。白百合が處女の象徵であるし、うれいに沈む美しい婦人を『雨になやむ海棠』などゝ申します。

又、華美で浮薄な婦人を蝶々のやうなと云ひ美しい、愛らしい、快活な婦人は小鳥のやうなと云はれました。たとへば、ヘルマンはノラを『私のヒバリよ』と呼んでゐました。

こう云ふように、一方に於ては、生物學の範園に於て、久遠の女性を求めてゐると同時に、他の一方に於ては、生物學からは全然離れて、精神的に女性を眺め、神性としての女性の綺を

描き、それを久遠の女性なりとし、そして、祭壇の上に、又は、床間にまつり上げようとしました。

併しながら、そこに描き出された女性のどれもが、實は、現實の女性ではありませんでした。丁度、藝術家が自分の思ふ通りのものを描き出した、つまり、藝術家の頭から生れた單なる反射、單なる繪畫であつたのです。

現實の女性は花でもなし鳥でもなし蟲でもなし、神樣でもない。且つ、又、男が勝手に揑造した人形でもないと云ふことに現代の進步した婦人は氣付いて來ました。そして、男と女との間の差と同じやうな、否、それより以上に、女と女との間の差は著しいものであると云ふことにも氣付いて來ました。

男子にも良いのがあり惡いのがあると同じやうに、女子にも良いのがあり惡いのがあり、強いのがあり弱いのがあります。

けれども、良くても惡くても、強くても弱くても婦人は一樣に男子の支配の下にあつたと云ふことは事實です。父、又は、夫には云はずもがな、自分の生んだ子供でも、それが其の家の長男であるならば、その子供にさへ頭を上げることが出來ないと云ふのが習慣でありました。

法律上、道德上、及び、家政上、何でもかでも婦人は男子の意志に從はしめられる。

いろ〳〵の儀式、いろ〳〵の方法によつて男と女とを結び付け、又、親と子の位置は定められてあつたのですが、いづれにしろ、自分の意志を實行することが出來ない狀態は、これを奴隷狀態と云ふより外に言葉はありません。

平等の道德律と進步

文明の進步は腕力乃至物質力と比較して知力

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及び道德の力ハ價値を徐々に認めさせるやうにしました。そして、これが奴隷狀態にある婦人を解放せしむる力となりました。

併しながら、男女平等の道德律の標準を男子が正直に承諾し、喜んで實行するやうになるまでは全體としての女性の人格の發達を期待することは出來ません。

男子が正直に男女平等の道德律を承諾し、喜んで實行する時にのみ、男性と女性とは本當の意味の心から打ちとけた伴侶となり、人間進歩の段階を相共に相助けて登ることができます。

一方が虐げられてゐたり、又は、重荷になつてゐたりしたのでは、もう一方が登る力を持つてゐても其の大部分は妨げられてしまひます。

男女が法律上、道德上、平等な位置に立ち、心身を自由に働かせることが出來、その上に、相助けてこそ、本當に有力に其の階段を登ることが出來ます。

勿論、この文明の階段を登つて行くには、善き政治、善き經濟、善き道德が必要でありますが、そのうちでも道德の力は絕對に必要です。

道德の力、殊に、男女平等に守られる道德の力が無かつたならば、人類は本當の意味の幸福を享有することは出來ません。

が、今や婦人はやうやく奴隷の位置を脫して女性の人格建設に忙しい狀態にあります。

女子にばかり課しつけられてあつた貞操の義務が、男子にも課せられるやうになりました。

これは人類發達史に於ける一大階段であります。

女性が自已に目ざめて以來長い間、痛切に望んでゐた男女平等の道德律が――たとへ、一般には採用せられてゐないとは云へ――確定されました。そして、女性は男女平等の位置に立脚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して未知の未來へ進んで行かうとして居ります。

後天的にどうすることも出來ない男女の差

　女性が彼女等の人格を最高に發達させる自由の要求、及び、あらゆる仕事に於て、卽ち、社會的、經濟的、宗教的、政治的の仕事の範圍に於て、共存共榮のために奉仕しようとする力を發達させる自由を要求するに當つて、或る婦人論者は、男女は根本的に同じものだと云ふ處に出立し、又、或る論者は、男女は根本的に異つてゐると云ふ處に出立してゐます。

　男女は根本的に同じだと云ふ論者は男女に同じように同じ種類の仕事を要求しました。なぜなら、國家、社會、及び、人類の進步向上と云ふ困難な仕事は、人間が持つてゐる凡ての力を利用しなければ不可能ですから。

　けれども、男女は根本的に異つてゐると云ふ論者は異つた性質の仕事を男女に要求します。しかも、男として女として充實した力の共同を要求します。

　昔風の男女の區別、卽ち、男は強く女は弱いと云ふ見方は既に打ち破られて居ります。近代の運動競技などが其れを證明してゐます。

　が、男女の間には後天的にどうしても取り去ることの出來ない重要な先天的の差が二三あります。その差をもつて男女は結合し、共同し、人種繼續の事業を營んでゐました。そして、その結合し共同することは全部義務ではなく、彼等の權利でもあつたのですが、これが文明のために最も重要な仕事でありました。

愛の力と文明の進步

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヘンリー・ドラモンドは男性の活動的本能を『生命の爭闘』と云ひ、女性の愛情に出立した本能を『他人――多くは子供――の生命のための爭闘』と呼んでるます。男性女性のこれ等の二つの本能があつたからこそ人種は繼續して來ました。

人類を進歩に導いた要素は愛でありました。この愛が無かつたならば人類は永久に進歩の階段を登ることは出來なかつたでせう。

ドラモンドは申します『この愛は小ない子供を通して此の世界に現はれた。この愛と云ふ本能が現はれるまでは男性の愛情と云ふものは存在しなかつた。女性の愛情は凍つてゐた。男女は相愛することを知らなかつた。けれども、或る日、母の心の底から不圖、子に對する愛の蕾が芽をふいた。それは情慾ではなかつた。何となればそれは利己主義ではなかつたから。

『愛は造物主からのかほりゆかしき香(かう)である。母の心の奥から現れた共の蕾から發散する香のかほりは世界を神聖化するために擴がつて行つた。或る日、又、不圖、小さい無意識な子供は父のたましいに觸れて行き、そして、彼の愛情を呼び起した。かくして、小さい子供の愛のうちに、父と母とは再び新らたに顏と顏とを見合せた』と。

これは、愛の進化に關する譬話(たとへばなし)ではなく實話です。なぜなら、家庭は人道の一つの縮圖ですから。

もし、家族員即ち父にしろ母にしろ自分自身のためにばかり生活して他人――子供――の生活に注意を拂はなかつたとしたならば今日の文明は存在しなかつたでせう。

家族員の間に、隣人の間に、階級と階級との間に、國民と國民の間に愛がなかつたならば、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人類は幸福もなく、従つて進歩向上もありません。

今日まで男子は自分自身の力で家を及び世界を支配しようと試みてゐました。腕力乃至物質力に餘まりに多く據り過ぎてゐました。

けれども、男子の腕力乃至物質力のみによつては此の世界が治まらないことに人は、今、氣付いて來ました。男と女が共力して世界を治めようとする時に、そこにより偉大なる精神の力乃至愛の力が現れると云ふことに心ある人は目を開いて來ました。

この世界には物質の力と同じく、否、それ以上に愛の力が活躍しなければならないと云ふ事實を男子が充分に認めた時に婦人の解放は徹底します。

デモクラシイーの精神と婦人

民衆の聲が神の聲だと云ふデモクラシーの議論は、大多數の意志が必ずしも神の意志だと云ふのではありません。實は、神は此の世界に於ては、人間を通して働くと云ふことも、そして善人が惡人よりもより多くの勢力を持つてゐると云ふことを意味するものです。民衆の聲が神の聲だと云ふのは其の意味です。

もし、さうであつたならば、一つの道理にかなつた人生哲學も、進歩も理論もなり立ちません。

ですから、選擧權の擴張は善良な勢力を中心とした大なる數を活躍せしめようとするものです。そして、他の惡い中心があるにも拘はらず云ひかへれば、惡い人間も少なくないにも拘らず、結局、善良な人間を中心とする勢力を活躍せしめ、人類の幸福と進歩向上に資する處あらしめようとするものであります。

世界の優勢な國民が未來に於て、力の心理的中心を見出すこと、卽ち、眞の世界平和を創造しようとする事業は、結局、婦人の愛の力、乃至、精神の力に據らねばならぬものです。

とは云へ、全然、婦人の力に據ると云ふわけではありません。勿論、男女の共力が先づ第一必要條件であります。そして、こう云ふことは過去の先覺者が詩として歌ひ、又は、科學者が科學的の假說として發表したものです。

將來の婦人は此處に到達しなければならぬものだと私は觀測します。

現代女性の進み行くべき最後の目標はそれだと私は信ずるのです。そして、そこに到達することの遲いか早いかは、勿論、婦人自身の努力の如何によるものではありますが、もう一つには男子が腕力乃至物質の力よりも精神乃至愛の力がより大切であると云ふ事實を認めることの遲いか早いかによるものです。

婦人參政權と世界平和

婦人が參政權を獲得すれば、そこに新らしい問題が起るであらうことは相像に難くないですが、同時に、婦人の勢力が男子の勢力に併合することによつて國家の中堅は一層鞏固になります。

と云つて、今日の婦人參政權の主張は初期の婦人論者の主張したような婦人も男子と同じ人間であると云ふ理由の下にではありません。今日の賃銀制度が母と子の生活を輕視してゐることや又は勞働及び職業婦人の問題や女子教育の問題と云ふやうな複雜な問題の解決は婦人は婦人であり男子は男子であると云ふ事實に出立しなければならず、そして、女子獨特の問題はやはり女子の心を持つて解決しなければならな

いからです。

男女は兩方ともに同じ人間であります。けれども、性質や作用を異にする人間であると云ふ處を基礎に、大いに考へなければならないのです。

大いに考へなければならない問題は多々ありますが、そのうちでも一番大きな問題は世界平和に對する問題です。そして、この問題が婦人に負ふ處多大であると云ふことは申すまでもありません。

勿論、婦人の全部が溫和な平和を好むものだと云ふわけには行きません。男子のうちにも利已主義者やかたくなゝ者があると同じように婦人のうちにもさう云ふ人間があります。けれども、全體として考へる時には、確かに男子のうちによりは女子のうちに同情的な憐愍の心がゆたかです。そして、戦争の恐ろしさを感ずる相像力がより大であります。

婦人が、唯、ぼんやり平和を希望してゐた時代は既でに過ぎ去りました。婦人の集合意志を働かせて、今日の人類の物質主義、利己主義、侵略主義乃至爭鬪主義なる本能の矯正につとめねばなりません。

と云つて、世界平和の問題を婦人にのみ託すと云ふわけには參りません。男女の共力が必要であると云ふことは勿論です。男女兩方からの祈りが完全な力になるのです。

人類の自由及び平和は男女が相共に求め、その方向に努力しなければならない。

世界平和と云ふ目標に到達する人類の、殊に婦人の努力は相當に長い年月を要するものと思はなければならない。

一疋の猛獸を手なづけるには十年の月日を要すると云はれて居ります。そんならば、人間の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

利已主義的爭鬪的本能即ちカイゼルの云ふあばれ馬を矯正するために相當の年月を要するのは當然です。

家庭と個性

一部の社會思想家は家庭無用論を稱へて、家庭は既でに崩壞しつゝあるやうに云つたりします。けれども、さう云ふ論者は、最近最も發達した社會學上の學說を知らない。同時に、家庭の心理的倫理的の內容を理解し得ないのです。

近代文明の大きい廣い文化的社會に於ては、個々人の個性はます／＼磨滅されて行きます、大きい社會と妥協して行かなければ自已の生存が不可能であるからです。

けれども、社會と云ふ大きい團體のうちの小さい團體即ち家庭なるものがあつて個々人の個性は保護され、維持され、且つ、發達して行きます。

大きい社會の單位として、一個の別々な統一體として一個人の個性の延長として家庭は存在し、かくして、家族員の個性實現を可能ならしめます。

文明の進步に個性がなくてならないものである以上、家庭も亦無くてならないものであります。

謹賀新年
昭和三年一月元旦
山田嘉吉
山田わか

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和二年十二月廿三日印刷納本
昭和三年一月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番

昭和三年一月一日發行　昭和二年十二月二十三日納本　大正七年二月二十三日第三種郵便物認可　【定價金十錢】